

【奨励賞】



氏名 タダマガル シシリ
国・地域 ネパール
在日期間 1年10ヶ月
所属 神村学園専修学校

タイトル：「明日、明日」

「また 明日ね～」。友達とかわす毎日の挨拶、「また明日会おうね」。なんていい挨拶でしょう。皆さん、想像してみてください。当たり前のように過ごしている毎日ですが、「明日明日」と言って、本当に明日はやって来るのでしょうか。私の国ネパールでは「明日」という言葉が大好きです。みんなよく口にします。友達に明日会いたいから、友達が大好きだから、よく使うのではなく、便利で都合がいい言葉だから、よく使われているのだと思います。

では、なぜ、ネパールでは、この「明日」が好きなのかと言うと、自分の周りで何か問題が起きたとき、「あ～今日は忙しいから、明日、手伝ってあげるね。明日ね」。学校の先生達も 今日教えてあげられる時間もあるのに、「さてと、この次は明日教えますね。明日ね。」といった感じです。面倒なことは後回し。人間、楽な方がいいからでしょう。まあ、のんきなネパール人です。

明日が大好きな私も、日本に来たばかりの時、1ヶ月ぐらいの日本語の勉強で、「おっ、日本語はけっこう簡単だな」と感じました。簡単なので「復習なんかしなくとも、明日学校で覚えたらいいし」と、思っていました。でも、ひらがなとカタカナを覚え、勉強が進めば進むほど、どんどん新しい言葉が出て来て、ついに、避けては通れない漢字が現れました。私にとって、初めは簡単だった日本語が、漢字というモンスターによって、急に難しい物へと変わってしまったのです。

今日するべき復習を明日へと延ばしてきた結果、日本に来てから6ヶ月後に受けた試験に、私は失敗してしまいました。失敗した私を見て、トルコ人の友達が言いました。「シシリ、こんなに勉強できる時間を持てるのは学生の今だけだよ。漢字の勉強も、日本語のコミュニケーションも、できる時にたくさんするべきだよ」と。その友達は日本が好きで、日本語もとても上手です。最初の印象は、勉強が嫌いな人に見えましたが、実は毎日、毎日、習ったことを復習して、努力していたのです。だからこそ日本語が上手なのだと分かりました。

日本人はどこでも勉強しています。歩きながら、学校の休み時間のベンチ。特に驚いたのは、電車の中で勉強しているのを見た時です。「今？ この時間に？ 明日もあるのに…」と、私は思っていましたが、友達の話や、周りの人を見て、「今の自分じゃダメだ。今日できる事を今日のう

ちにするんだ」と考え方が変わりました。出来ることを明日へと先延ばしにしてきた私でしたが、日本で試験に失敗した経験から学びました。小さいことでも明日へと先延ばしせず、今できることは今日のうちにしています。皆さんも何かを先延ばしにして失敗したことありますか。当たり前に過ごしている毎日、何が起こるかわかりません。自分の人生、いつ終わるかわかりません。ですから、今日、この時間を自分のために、家族のために、周りの人のために、今日できることを明日へ持ち越さない。そうすると何か良くなっていくと思います。そして、希望に満ちた明日がやってくると信じています。

